

問い合わせ先

総務部政務課政策評価広報室

海上保安報道官 一條 正浩

03 - 3591 - 9780 (直通)



海上保安庁

平成23年3月18日

平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震への対応等について

(第13報) 平成23年3月18日0500現在

(下線部分は第12報からの変更点)

1. 対応勢力

	全国	東北地方太平洋側
船艇	85隻	54隻(派遣37隻)
(内訳)	(内訳)	(内訳)
巡視船	55隻	<u>39</u> 隻
巡視艇	24隻	<u>9</u> 隻
航路標識測定船	1隻	1隻
測量船	5隻	5隻
航空機	29機	19機(派遣16機)
(内訳)	(内訳)	(内訳)
固定翼機	9機	2機
回転翼機	20機	17機
特殊救難隊	14名	14名
機動救難士	14名	14名
機動防除隊	<u>6</u> 名	<u>6</u> 名

当初は日本海側も含めて津波警報・注意報が発令されたことから、全管区において船艇航空機を発動したが、津波警報等が解除されたことに伴い、順次通常業務に戻る管区が増えている。

一方で、被害の激しい東北地方太平洋側に船艇航空機を他管区から派遣して、当該地域での対応に全力をあげている。

2. 救助状況

(3月18日0500現在 これまでに当庁が救助した人数 294名)

《岩手》

大槌 13日、吉里吉里中学校(上閉伊郡大槌町)に避難した負傷者1名を、当庁ヘリにより吊り上げ救助完了

大槌 14日、大槌ふれあい運動公園の負傷者1名を、当庁ヘリにより搬送完了

釜石 13日、大平中学校負傷者2名を、当庁ヘリにより吊り上げ救助完了

釜石 13日、港内孤立者2名を、巡視艇きじかぜにより救助完了

《宮城》

塩釜 12日、航行不能となった「第三クニ丸」(9名乗船、4名行方不明)の乗船者1名を当庁ヘリにより吊り上げ救助完了(残り4名は僚船に曳航され救助)

塩釜 12日、塩釜市桂島の傷病者3名を、当庁ヘリにより救助完了

石巻 12日0832、ヤマニシ造船所にて建造中の船舶「トリパン」(81名乗船)から乗船者全員の救助完了(当庁71名、海上自衛隊10名)

石巻 12日0928、上記造船所にて建造中の船舶「サイダージョイ」(31名乗船)から全員を当庁ヘリにより吊り上げ救助完了

なお、ヤマニシ造船所から流出したのは上記2隻のみと確認がとれている

石巻 12日、雄勝湾の漂流船から2名全員を、当庁ヘリにより吊り上げ救助完了

石巻 12日、港内の孤立者62名を、巡視船いすず搭載ゴムボート、石巻監視取締艇により救助完了(一部の孤立者の救助は海上自衛隊と連携)

石巻 12日、石巻郊外の「ブルーライナー」から病気を発症した乗客1名、監視取締艇にて救助完了

石巻 12日、石巻工業港内絡索船乗員2名、巡視艇しまかぜにより救助完了

石巻 13日、市内沿岸部における孤立者13名を、当庁ヘリにより吊り上げ救助完了

石巻 13日、負傷者1名を当庁ヘリにて吊り上げ救助完了

石巻 13日、石巻健康センター孤立者1名、当庁ヘリにより吊り上げ救助完了

石巻 14日、石巻南中里リコー営業所孤立者9名を、当庁ヘリにより吊り上げ救助完了

石巻 16日、石巻市尾崎宮下孤立者1名をヘリにて吊り上げ救助完了

気仙沼 12日、気仙沼港付近のビル屋上に孤立者30名を発見し、当庁ヘリにより全員救助完了

気仙沼 12日、気仙沼海上保安署に避難した負傷者1名を、当庁ヘリにより吊り上げ救助完了

気仙沼 14日、気仙沼大橋から観光栈橋までの傷病者6名、当庁借り上げ船により救助完了

気仙沼 15日、気仙沼市内の吐血した急患1名、巡視艇ささかぜにより救助完了

志津川 13日、漂流漁船の乗船者1名を、当庁ヘリが発見し、吊り上げ救助完了

《福島》

相馬沖 12日、作業台船「くまの丸」が揚収した1名を、巡視船まつしまにより搬送するも心肺停止

相馬 15日、港内で座礁中の「シラミズ」乗船の23名を、当庁ヘリにて吊り上げ救助

相馬 16日、港内で座礁中の「パインウェーブ」乗船の23名を、当庁ヘリにて吊り上げ救助

《千葉》

銚子 11日、乗揚船「第三十三開運丸」から1名を、当庁ヘリにて吊り上げ救助完了

銚子 11日、外川転覆プレジャーボート2隻から計3名を、当庁ヘリにて吊り上げ救助完了

3. 対応状況

(1) 原子力発電所関連

- ・ 福島第一原発に係る避難指示(20km)、屋内退避(30km)及び福島第二原発に係る避難指示(10km)を受け、巡視船(特殊救難隊、機動防除隊同乗)により同周辺海域において監視警戒中
- ・ 福島原発に関する日本航行警報、NAVTEX警報発出

(2) その他

- ・ 9港で船舶への避難勧告を実施中
- ・ 航路標識の被害状況調査を実施中(夜間の視認調査を含む)
- ・ 航路標識、航路障害物等に関する航行警報
- ・ 国土地理院と窓口を設定し、同院所属航空機からの情報提供体制を確立
- ・ 仙台港全農タンクからのガソリン漏油事故に対し、巡視艇により海上のガス検知作業を実施。異状を認めず。

4. 緊急輸送

- ・ 12日、第二管区海上保安本部(塩釜市)に避難した住民に対する毛布200枚、非常食(クラッカー240缶)を陸路輸送
- ・ 13日、本庁対策本部に「緊急輸送対応班」を設置し、対外調整等を実施
- ・ 14日、巡視船の現場派遣にあわせ、神奈川県から岩手県への食料等の救援物資(合計780kg)の搬送を実施
- ・ 14日、巡視船の現場派遣にあわせ、釜石市、宮古市への救援物資(毛布100枚等)の搬送

5. 現場支援活動

- ・ 13日、八戸港沖の入港待機漁船に対し、食料等支援物資を供与

- ・ 13日、岩手県尾崎白浜の孤立した被災者に対し、発電機用燃料を供与
- ・ 15日、茨城県大洗港着岸中の巡視船しれところによる給水作業（約18トン）
- ・ 15日、江島（牡鹿半島沖）の孤立者5名に対し、当庁へりにより飲料水（500mlを384本）を供与

6．緊急輸送路の確保

(1) 水路測量の実施状況

- ・ 14日、釜石港において測量船「海洋」により、港内の一部について、水路測量を実施
- ・ 15日、釜石、宮古、仙台港において、測量船3隻による港内の水路測量等実施
- ・ 16日、八戸、宮古、仙台港において、測量船4隻による港内の水路測量等実施
- ・ 17日、八戸、仙台港において、測量船4隻による港内の水路測量等実施

(2) 港湾の供用状況

- ・ 15日、釜石港一部供用開始
- ・ 16日、小名浜港一部供用開始
- ・ 17日、宮古港一部供用開始

7．遺体揚収

- ・ 18日0500までに、東北太平洋沿岸において、漂流遺体36体を揚収

8．当庁の被害状況

(1) 巡視船艇

二管区 宮城 PLHざおう（東埠頭1号岸壁に着岸、絡索により航行不能、搭載艇及びへり甲板は使用可）

PLくりこま（松島湾内にて無人座礁中。機関室に浸水あるも応急措置済み。船体に傾斜あるも状態安定）

(2) 航空機

仙台基地 固定翼1機流出、固定翼1機及び回転翼2機が浸水

宮城分校 回転翼1機浸水

整備工場（ジャムコ、仙台市）回転翼1機が転倒及び浸水、固定翼1機及び回転翼1機が浸水

(3) 施設関係

庁舎

二管本部、宮城：5階、6階及び7階の内部壁に亀裂あり

釜石、宮古、気仙沼、石巻：基地機能不能

仙台基地：基地機能不能

鹿島：庁舎クラック発生、CL浮棧橋の渡橋折損

日立：天井・壁破損

航路標識等

倒壊、傾斜 22基

消灯 19基

移動、流出 39基

欠射 1基

通信施設

情報通信関連機器損傷 26件

二管区で緊急通報 118番の受信障害が発生し、九管区において受付対応中